

授業の具体的展開例

(前時の学習の振り返りを終えた後)

T 今日、大事なことを落とさないように聞くためのメモの取り方について考えましょう。教科書には、「北野さん」「山下さん」「黒田さん」の三人のメモの例がのっています。それぞれ、どのような書き方や工夫がされているか、グループで分担して調べますが、どのメモを分担するか決めましょう。

(メモを決める)

T これから先生が「五年生の説明」を読みます。みなさんは自分のグループが分担しているメモを見ながら聞いて、気が付いたことをプリントに書き込んでいきましょう。

(「五年生の説明」を読む)

T どのよいつなごに気が付きましたか。

C はじめ、「園芸委員会」と書かれています。これは、何についての説明なのか、ということだとおもいます。

C 線や などの印を使って書いてありました。

T そうですね。いろいろなよいつなごを見付けられましたね。ではもう一度読みますから、他にも気が付いたことがたくさん書いていきましょう。

(再度、「五年生の説明」を読む)

なかなか気が付かない児童を含めて2度読むことで、学級の児童全員が確実に取り組めるようにする。

学習活動の説明は簡潔に行い、実際に一度させてみる。そのことで、何をどうするのが具体的に理解できる。

「大事なことを落とさないように」という言葉を補うことで、焦点を絞って学習目標を意識できるようにする。

板書例

次の時節
グループごとに発表
みんなで考える。



発表のしゅんびをする。

グループで話し合う。

メモのよいつなごを見つけて、分たんを決める。
メモを見ながら話を聞き、気が付いたことを書く。

進め方

メモの例のよいつなごを見つけてグループで発表しよう。

「活用」の力を育てるポイント

効果的なメモの取り方について、知識として知るだけでなく、実際に話を聞きながらメモを取れる力を身に付けさせたい。そのため、1時間の授業の中でも、聞きながらメモを取る活動を繰り返し設定していく。

本時の流れへ

単元の流れへ

評価問題

HOME